

まず、最初に闘う相手は自分自身

*Challenge myself*

VS. 自分



We are Christopher

*Love Your Neighbor*

2019—2020



聖隸クリストファー高等学校



***Challenge myself***

0.1秒のタイムを縮める為に、ひとつでも多くのシュートを決める為に

あと1点の競合いに打ち勝つ為に、そして、今より一歩でも前に進む為に猛練習を重ねる。

くじけそうな気持ちを奮い立たせて、もう1本、もう1球、もう1回…

ハードな練習の日々を乗り越え掴んだものは“最高の達成感”。

そこには全力でやり遂げた自分がいる。ひとつ目の目標に向かって共に歩んだ仲間がいる

仲間同士だからこそ分かち合える喜びや苦しみ、悔しさ。一生懸命頑張った分だけ、たくさんのドラマと感動が生まれる

部活で培った強い精神力と友情。それはあなたにとってかけがえのない一生の宝になることだろう。



岩崎 暖大

普通科 特進クラス1年 細江中学校出身

聖隸のジュニアユースにいたから、レベルの高さは知っていた。  
このチームではポジションがもらえないかもしれない。  
それでも、夢を叶えるために挑戦することを選んだ。  
辛くても今がんばる。力を抜かない。  
それは、努力が自信をもたらすことを知っているから。  
最近は2部リーグの試合に出られるようになった。  
次はAチーム、そして全国だ。



## Aチームの壁、 全国大会の壁 VS.





佐藤 舞

普通科 進学クラス1年  
開成中学校出身

中西 歩楽

普通科 進学クラス1年  
開成中学校出身

伊藤 愛

普通科 進学クラス1年  
湖東中学校出身

真下 莉奈

普通科 進学クラス1年  
浜松北部中学校出身

鈴木 那奈

英数科 1年  
湖東中学校出身

松居 優羽

普通科 特進クラス1年  
開成中学校出身

中学時代は同じクラブチームで東海大会まで進んだ6人組。

さらなる高みを目指し、このピッチに集まった。

そこで目にしたのは、ドリブルを軸としたチームのプレースタイルと  
先輩たちの足元の技術力の高さだった。

6人はボールを奪われないドリブルを身につけようと必死だ。

県大会ベスト4。この目標を、誰にも奪わせないために。





## コートの中の2人目の敵

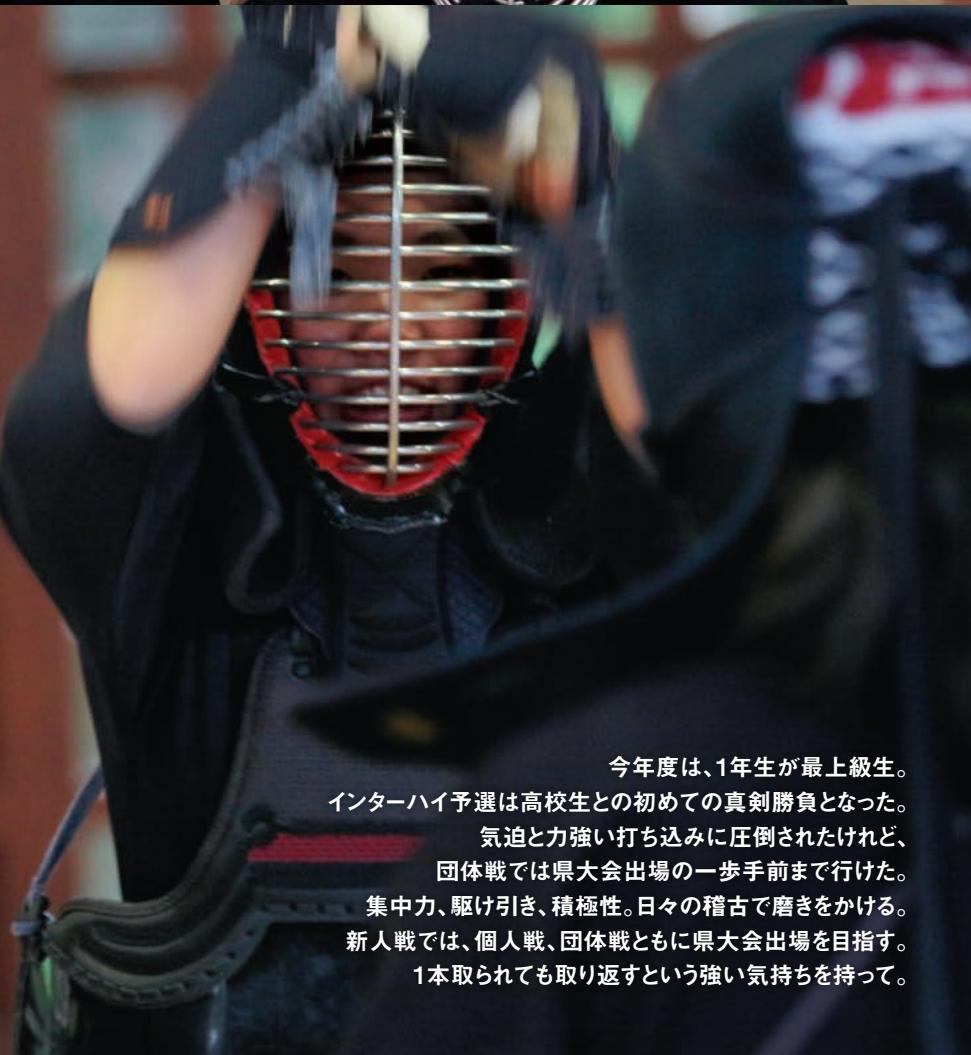
VS.

### レフェ フィ ロン

普通科 進学クラス 2年 北星中学校出身

昨年までは、コートの中に2人の敵がいた。  
それは対戦相手と、ひとつのミスで崩れてしまう弱気な自分だ。  
今は気持ちの切り替え方を学び、自分を見失うことが少なくなった。  
苦手だったバックハンドも克服できた。  
小から積み重ねてきたものを、カタチにする準備はできた。  
さあ、団体戦県大会ベスト16、シングルス県大会出場へ。







小学生でバレーを始めた時にはもう、  
あこがれの聖隸でプレーすると決めていた。  
他校から誘いを受けた時も、迷いはなかった。  
本気で全国を目指すなら、ここしかないと信じていたから。  
先輩たちは、拾ってつなぐバレーでインターハイ出場を決めた。  
今は、本気で全国を目指すなら、ここしかないと確信している。  
狙うは全国ベスト4だ。

## インターハイ、国体、 春高ベスト4



砥綿 蓮

普通科 進学クラス1年  
磐田城山中学校出身





中学時代は別々のチームで活躍していた3人が、  
リベロ、セッター、センターとしてひとつのボールをつなぐ。  
全力で練習した後は、  
練習を振り返る日誌を欠かさず書く。  
それぞれの課題を明確にして1日も早く克服するために。  
チームのスローガンは笑顔、感謝、向上心。  
聖隸らしい元気なチームができたとき、  
県大会ベスト8が見えてくる。



長身の選手が有利という常識

VS.



大竹 草太

普通科 特進クラス1年  
湖東中学校出身

身長155cm。

ポジションはチームの司令塔となるガード。

中学最後の大会では県大会に出場し、優秀選手賞にも選ばれた。

これまで、その小さな身体で、みんなの期待に応えてきた。

今度の目標は新人戦の県大会出場。

自分のバスやシュートでチームを引っ張り、勝ち上がりたいと語る。

その瞬間、小さいはずの身体が、とても大きく見えた。





# ダンスは 普段の振る舞いに表れる

鳥居 加鈴

普通科 進学クラス1年 湖東中学校出身

スッと伸びた背筋と笑顔が印象的な彼女は、  
プロバスケットボールのチアチームでキャプテンを務めている。  
他のジャンルにも挑戦したくて入部したダンス部では、  
先輩たちのスキルの高さと息の合った動きに驚かされた。  
また普段の振る舞いも素敵でお手本にしているという。  
勉強と部活を両立させながら、人としても成長している。



小杉 佳穂

普通科 進学クラス1年  
浜北北部中学校出身

# 音色で魅せる チームプレー

VS.

秋 千陽

普通科 進学クラス1年  
中郡中学校出身



異なる楽器が、支え合い、響き合う。  
それが吹奏楽の魅力であり、難しさでもある。  
先輩たちに比べて、自分たちの  
音圧や音色はまだまだと言う2人。  
目指すのは、個々の音が  
立ちながら調和している演奏。  
日々の練習の先に、  
東海大会進出を見据えている。  
音楽には人の心を動かす力がある。  
高校野球の応援演奏でも、  
その力が發揮されるはずだ。





## NHKホールの舞台 VS.

3人は同じテレビドキュメンタリーを制作するチーム。  
企画から取材、撮影、編集までを手掛けた作品が、  
第66回NHK杯全国放送コンテストの全国大会に駒を進めた。  
8分間の映像作品に込めたのは、伝えたいという純粋な想い。  
結果だけでなく、観た人がどんな感想を持つかにも興味がある。  
そこには新しい発見や気づきがあるはずだから。





知ることで、  
やさしくなれる

VS.

**夏目 静来**  
英数科 1年  
三ヶ日中学校出身

中学の時に参加した福祉施設でのボランティア活動。  
そこで誰かの役に立てることのうれしさを知った。  
高校入学後、るりだの会を見つけて迷わず入部。  
先日はクリストファーこども園で、園児たちと仲良く遊んだ。  
子どもと話す時のコツは、視線の高さを合わせること。  
彼らの笑顔は心を開いてくれた合図。  
次の活動では、どんな出会いが待っているのだろう。





きっかけは、先輩が札を扱う姿にあこがれしたこと。  
やればやるほど、どんどんかるたの魅力に引き込まれていく。  
初心者だった2人も、  
2ヶ月が経つ頃には百首すべてを覚えていた。  
次の課題は反応のスピードを速くすること。  
そして、県大会の団体戦メンバー入りを目指す。  
大会では札を扱う2人の姿が、観客たちの心を奪うことだろう。



ゆっくりと、  
速くなるしかない



VS.

陸上競技の話題になった瞬間、にぎやかな笑い声は消えた。  
3人の真剣な表情が短距離走への熱い想いを物語る。  
スタート時の体の傾き、腕の振り、走る姿勢。  
自分の走りを動画でチェックし、修正を繰り返す。  
少しずつ、ゆっくりと。それしか速くなる方法はない。  
すべては自己ベストを更新した時の達成感のために。



**谷高 紗那**

普通科 特進クラス1年  
北浜東部中学校出身



**河合 紀々香**

普通科 進学クラス1年  
積志中学校出身



**古橋 姫菜**

普通科 進学クラス1年  
湖東中学校出身





小学校でも、中学校でも  
2人そろって全国大会に出場。  
高校でも全国大会に行くために、整った環境の中、  
高いレベルで練習できる聖隸を選んだ。  
新チームでは3番キャッチャーと  
6番サードを任せられているが、技術面でも精神面でも  
まだまだ成長が必要だと感じている。  
新人戦の目標は県大会ベスト4。  
きょうの練習も、試合のつもりで真剣に取り組む。



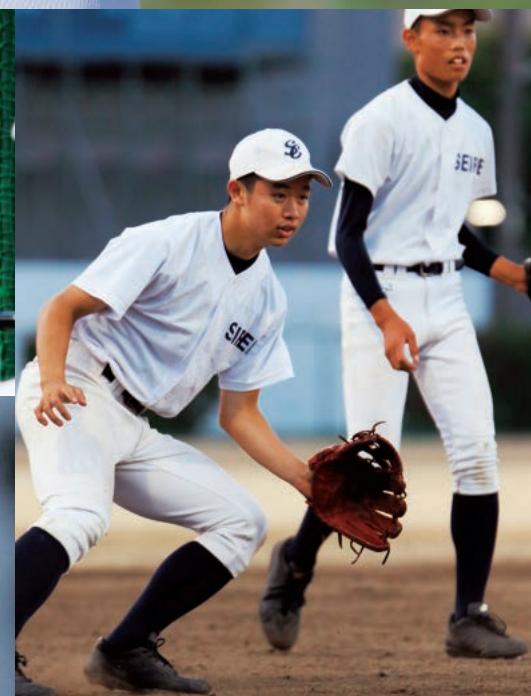
# たった5回だけの チャンス VS.

西尾 太一

普通科 特進クラス1年

清竜中学校出身

甲子園にあこがれて、  
保育園の年長から野球に夢中。  
小学校、中学校ともに  
所属していたチームで全国大会に出場。  
それでも甲子園は、まだまだ遠いと感じていた。  
そして今、夢に見た大舞台に一番近い場所にいる。  
夢を叶えるチャンスは春夏合わせて、たったの5回。  
だから今日も、1打席、1プレー、  
1球に魂を込める。



*Soccer, Tennis, Kendo, Shorinji-kempo  
Volleyball, Basketball, Dance, Brass band  
Broadcasting, Interact-s-rurida  
Karuta, Track&field, Softball, Baseball, and more ...*



心を育み知性を磨く

## 聖隸クリストファー高等学校

<http://www.seirei.ed.jp/>